

令和6年度国内でのルールについて

2024年3月22日

5月8日修正

<団体組手の選手数について>

【確定事項】

- 男子5人中3人以上・女子3人中2人で試合成立していれば良い

<形の入場時間について>

WKF（世界空手連盟）では今年度から歩き始めてから1挙動目までを35秒以内に行わないと減点になるが、国内で導入するかについて

【確定事項】

- JKFでは導入しない

<形の試合制度について>

SA（シリーズA）は全てトーナメント、PL（プレミアリーグ）・世界大会ではラウンドロビン（総当たり戦）は1対1の総当たりで勝ち抜いたらトーナメントになる。

【確定事項】

- 2024年度は従来通りとするが2025年度以降の継続審議とする

<組手場外対処について>

【確定事項】

- 場外に出た場合は副審が床を2回タップする（最終判断は主審）
- 4月の全国審から実施するが、床のタップは令和6年の全国審、Aランク試験の審査対象外

<その他>

片膝をついた状態で突きを出した相手に対して、突きが決まった場合は有効となる。